Aavran Handloom Society

「Aavran」 ― 生きる姿勢を身にまとう

「Aavran Handloom Society（Aavran手織り協会）」は 1973 年に制定されたマディア・プラディッシュ団体登録法において認可されています。この協会はマディア・プラディッシュ州の発展の遅れた地域を基盤とした、小さなセルフ・ヘルプ・グループの集合体です。そこには男女合わせて 10 のグループが存在し、100 家族分の生活の糧（かて）を生み出しています。私たちは、村の人々の自尊心、独立心を高め、雇用の機会を生み出し、都会への人口流出を防ぐことを目指しています。私たちは、社会的に信頼に足る公正な賃金システムと品質基準を明確にして、村人にトレーニングを行っています。

ビジョン：

地方の生計を良くするクオリティ・サービス・オーガニゼーションを成長させるため、女性の経済的自立を奨励し、自然の繊維を使った手紡ぎ、手織りを促進させ、環境に優しい団体という特色を持たせています。このように、コミュニティの意識と責任を世界中に広げているのです。

背景：

「Aavran Handloom Society」は生活に根ざしたイニシアティブ（新規構想）です。そこでは、100 の家族がオーガニックの手紡ぎ、手織り生地の生産によって生計を立てています。およそ、70 人の女性紡ぎ職人と 25 人の若い手織り職人、その他 25 家族たちが、自立のため、ユニークかつ、まとまりのある努力によって、このイニシアティブを担っています。

「Aavran」のルーツは bioRe アソシエーションの組織活動と深く結びついています。

bioRe アソシエーションは社会組織として認可されており、教育施設を整え、インフラを促進し、地域のニーズに対する取り組みを行うことによって、オーガニック農法、バイオダイナミック農法のコミュニティづくりのために貢献しています。それによって、ホリスティックでサステイナブルな発展へと導いているのです。

bioRe アソシエーションは 2007 年 9 月、女性のセルフ・ヘルプ・グループの生活向上のための小規模なイニシアティブを Ambar Charkha という名の手紡ぎ機 10 台を使ってスタートしました。生活に根ざした手織りプロジェクトの確立によって、手紡ぎ、手織りのオーガニック・コットン生地プロモーションの可能性に対し、市場でのポテンシャルは有望であり、セルフ・ヘルプ・グループのメンバーも興味を持ったようでした。これを考慮に入れ、必要なインフラを整えるための開発に、スイスの bioRe 基金は bioRe アソシエーションに手を貸したのです。このイニシアティブの成功は、民主的な組織へと変化を遂げ、「Aavran」と名付けられ、正式に登記されることになりました。

「Aavran」の働き：

Aavran は社会事業であり、平等、品質、透明性、フェア・トレード、地域の生産物のグローバル展開を信条にしています。それゆえに、私たちの伝統的な知識と文化が集約され、価値を持つことにより、世界を牽引していくでしょう。Aavran は手紡ぎ職人や手織り職人、そしてユース（青少年）・クラブからの創立メンバーによって運営されています。bioRe インディア社によってオーガニック・コットンがスライバー（粗縒りコットン）の状態になったところで、家に Ambar Charkha という手織り機を持ち、手紡ぎで糸を生産する女性のセルフ・ヘルプ・グループに運搬されます。セルフ・ヘルプ・グループの女性たちは生産に入る前の三ヶ月間トレーニングを受けています。

手紡ぎ糸は糸の巻き取り作業から仕上げまでの工程が行われる Aavran の手織り作業場に搬送されます。糸や生地のナチュラル染色は認可を受けた企業によって行われます。

Aavran はさまざまな手織り機プロモーション・フェアやワークショップに参加しています。Aavran 製品はオーガニックの手紡ぎ、手織り製品という市場セグメントでは非常に求めやすい価格帯です。製品はさまざまなスキルを持つ労働力と参加型の経営とコミットメントの結果なのです。

＊　詳細は付属の文章をお読みください。

「Aavran」の価値：

Aavran は価値を伴ったブランドです。製品はフェアで透明性があり、民主的なシステムによって運営されています。私たちの価値観の核心は以下の通りです。

品質、サステイナビリティ、求めやすい価格、社会的、責任感、透明性、フェアでエコロジカル。

プロセス・フロー：

Aavran の製品工程はすべての生産段階において、付加価値を持っています。「Aavran」ではすべての段階で製品にヒューマン・タッチを持たせています。例えば、あなたが Aavran 製品を買うとしましょう。あなたはきっと、社会的にも、経済的にも、人と暮らしを直接肌に感じると思います。「Aavran」のコンセプトは、バイヤー、消費者、コミュニティの関係を長期に渡ってサステイナブルにすることです。私たちはすべての製造工程における品質、一貫性、社会的基準を保証します。

〈フロー部：　左上段から右下段の順〉

- bioRe インディア社による、認証を受けたオーガニック・スライバー
- セルフ・ヘルプ・グループの女性たちによる、自宅での手紡ぎ
- トレーニング兼製造ユニットによる、糸の巻き取りと縦糸セット
- 認証された企業による糸のナチュラル染色
- ユース・クラブ・メンバーによるサイジング

- ユース・クラブ・メンバーや熟練した織りもの職人による手織り
- 仕上げ、品質チェック、梱包、配送

製品：

「Aavran Handloom Society」は「手織りプロジェクト」を円滑かつ自主的に機能させるため、そして、プロジェクトを長く存続させるために設立されました。現在、私たちは少量生産のプロモーションを行っています。 例えば、手紡ぎで手織りのスカーフ、オーガニック・コットン生地、ストール（ドゥパッタ：インドの女性が頭から両肩に被るスカーフ）、ショール、学校の制服などがそれにあたります。私たちの製品はすべての工程において付加価値があります。それは、最高のオーガニック製品、ローカル製品、生活に密着している製品、高品質の製品がとても求めやすい価格で提供できるというプロモーションです。私たちはエコロジカルな草木染によって、製品の色をさらに増やしています。

<P3 製品： 上段から下段の順>

- スカーフ
- ストール
- サリー
- ドレス生地

ケーススタディ： カロンディヤ村の Azad Yuva Mandal（ユース・クラブ）

bioReアソシエーションは農村地域のユース・クラブの活動を奨励しています。これらのクラブは、社会活動や村の発展に貢献するために自分の時間を使いたい少年たちのボランティア・グループです。これらのグループはbioReトレーニング・センターが企画したユース・キャンプに招待され、Ekta Parishad（エクタパリシャド：インドに於いて、個々に権利を主張できない弱い立場の人々を守ろうとする政治的組織 [注1]）のShri P. V. Rajagopaliから専門的な指導を受けることができます。2006 年 6 月に、そのようなグ

[注1] http://www.noc-cotton.org/cn16/pg52.html より

ループが誕生し、自分たちをAzad Yuva Mandalと名付け、彼らの村とコミュニティの生活状態を向上させるという役割を自分たちに課しています。はじめは小さなユース・クラブだったのですが、今ではその村を改革するほど成長しました。

彼らの活動:

自分たちのアイデンティティを作りなさいと励まされたグループは、マヘシュワル（サリーの生産地として有名）近郊の織物コミュニティにインスピレーションを受け、見学のためこれらの地域を訪問する計画を立てました。「gudi mudi」のシャリニ・デヴィ・ホルカーさんから始めのガイダンスを受けて、女性たちは刺激を受け、手紡ぎ機「ambar charkha」の使い方のトレーニングを受けました。認証を受けたオーガニック・コットンが bioRe インディア社からグループに供給されるようになりました。

インフラの開発は bioRe アソシエーションを通して bioRe 基金*（スイス）が出資しました。織物職人たちは、マヘシュワルの織物の達人たちによるトレーニングを受けたのです。今では、協会は彼らを指導してくれた織物職人のような国内でも有名な織物の達人たちを雇っています。このユース・クラブはコンセプトをもとに活動を始め、そのコンセプトを生活に取り入れるための役割を果たしてきました。村のコミュニティ全体が彼らを支持しています。

ケーススタディ:　Rajendra Yadav ラジェンドラ・ヤダヴ

ラジェンドラ・ヤダヴさんはカロンディヤ村出身の 32 歳の青年です。彼は Azad Yuva Mandal ユース・クラブを創設した代表者です。農業を職業とする彼は現在、手織り協会に深く関わっています。彼の語ったことによれば、bioRe トレーニング・センターで行われたユース・キャンプが今の自分に到る旅の始まりだったと気付き、感慨深く感じたそうです。彼は手織りプロジェクトのリーダーであり、「Aavran」のコーディネーターとして働いています。仕事が進行中のさまざまなトレーニング・センターを訪れ、この新しい仕事のエリアの資格を身につけ、紡ぎと織りの技術を学び、精密なチューニングを行い、「Aavran」での仕事の質を向上させることが彼のチャレンジでもあります。

ケーススタディ:　Asha Yadav アシャ・ヤダヴ

アシャ・ヤダヴさんは 19 歳のカロンディヤ村出身の熱意溢れ、クリエイティブで聡明な若い女性です。彼女は 6 人家族です。10 年生（日本の高校1年生相当）までの教育を受けましたが、家庭の経済事情で学業を続けることは出来ませんでした。彼女は自分の生活の糧を稼ぐため何かを学びたいと熱心に考えていました。彼女は Azad Yuva Mandal ユース・クラブの活動的なメンバーである兄のサントッシさんに助けられました。サントッシさんの励ましを受け、アシャさんは女性のセルフ・ヘルプ・グループを作ることにしました。そして、bioRe アソシエーションの支援を受けて生計を立てるため、手紡ぎを始めるようメンバーたちに勧めました。

今度は彼女が兄を励ます番になりました。ユース・クラブが bioRe アソシエーションにメンバーのうち二人に織物のトレーニングを受けさせて欲しいとリクエストしたときに、マヘシュワルから来ている織り職人によるトレーニングを受けるようにと勧めたのです。

＊　付属を参照ください。

現在、彼女の兄は Aavran 手織りワークショップでトレーニングを受けた最初の 2 人のうちの1人として、新しい織物職人を指導し、トレーニングを行っています。

アシャは現在、家にいながら 13～15 キロの糸を紡ぎ、月に 2500～3000 ルピーの収入を得ています。彼女の計画は通信教育で学業を再開することです。彼女は家で Ambar Charkha を使う仕事が好きで、家族を経済的に助けて上げられることを喜んでいます。家族の生活状態はかなり良くなりました。

付属　1

bioRe アソシエーション

bioRe アソシエーションは 1973 年に制定されたマディア・プラディッシュ団体登録法において認可された社会的な組織です。bioRe アソシエーションは、教育施設を整え、イ

ンフラを促進し、地域のニーズに対する取り組みを行うことによって、オーガニック農法やバイオダイナミック農法を行う農業従事者とコミュニティづくりのために貢献しています。それによって、ホリスティックでサステイナブルな発展へと導いているのです。アソシエーションの仕事の 6 つの核は以下の通りです。

- 教育
- 健康
- 生計
- 環境
- 若者
- インフラ

bioRe アソシエーションによる主な活動

- bioRe トレーニング・センターでオーガニック農法やバイオダイナミック農法のトレーニングと、オーガニック農業従事者のための最新の設備の建物の準備を整えています。
- オーガニック農法に関連したインフラを作るため、利子フリー・ローンをオーガニック農家に提供します。
- bioRe アソシエーションは 12 校のアニメーション・スクールを設立することを通じて、子供たちの教育を促進します。アニメーション・スクールはさまざまな理由で彼らの持つ権利である初等教育を受けられない子供たちの入校を目的としています。アニメーションは、コミュニティ、特に両親たちと未就学児童に活力を与えたいという意図を意味しています。
- さまざまな専門を有するモバイル・ヘルス・ユニットのプロジェクトを 2006 年 11 月から開設しています。遠隔地に住む人々に対し、健康指導、診断、治療の必要性を満たすのが目的です。このモバイル・ホスピタル・ユニットは病理学検査、X線、心電図、超音波による診察など最新の施設を有しており、ユニットは基本的な医療や、検査施設を持たない遠隔地を周回しています。診断ユニットに加え、私たちは特別キャンプを設け、出産前、出産後の医療も行います。子供たちのための

ワクチン、眼科キャンプ、さまざまな医療分野の専門医たちを招く機会も作ります。

- bioRe アソシエーションは遠隔地における女性のセルフ・ヘルプ・グループを促進しています。これらのグループは 10～15 人で構成され、毎月小額のお金を払い、メンバーによって決められた互助会的な特別利子レートで融資を行います。これらのグループは後に収入を得る活動を始めることを推奨されます。
- バイオガス・プラントとスモークレスのかまどの普及を大規模に促進しています。プランテーション活動、コンピューター教育、村のインフォメーション・センター、ソーイング・センター、ユース・クラブのプロモーションなどのプロジェクトもアソシエーションによって実施されています。

付属　2

bioRe インディア社

bioRe インディア社はサービス、及び貿易の会社であり、オーガニックとバイオダイナミック農法の原理による農業により、農産物の生育のサポートをしています。bioRe インディア社はユニークな国際ネットワークによりエコロジカルかつ社会的な厳しい要求を満たした品質の高いテキスタイルを生産、販売している bioRe テキスタイルチェーンのスターティングポイントです。bioRe インディア社は農業従事者、カスタマーとパートナーシップを結び、農業のサステイナビリティを促進しています。化学薬品を使わないコットンを効率よく育てる方法を農業従事者に指導しているので、土壌は肥沃さを維持し、水も清潔さを保ち、コストも低く抑えることができます。農業従事者たちはより良い健康、より高い収入に喜んでいます。農業地帯の人口の過疎化も抑えられます。

主産物はコットン、穀物、豆類です。bioRe インディア社はこれらの農作物を調達し、加工し、販売しています。認証されたオーガニック・コットンは農家から直接買い付け、綿繰りをし、紡績工場に送ります。コットンと共に、穀物や豆類の栽培も行います。これらの作物市場のポテンシャルは調査中です。

付属　3

bioRe 基金

bioRe 基金はスイスを本拠地とする非営利団体です。基金の目的は、オーガニック、バイオダイナミック農法、特にコットンにおいて、サステイナブルな暮らしを促進し、発展途上国の農家や新興成長市場のニーズをサポートしています。bioRe アソシエーションによる社会活動のすべては、bioRe 基金がプロモーションの主体となっています。Remai AG Switzerland のパトリック・ホフマン氏が bioRe 基金の代表を務めています。